

いろいろ火の里 

みかわ

ぎがい



はるみつけ

消防団員報酬見直し

三川誕生70周年記念事業は

安心できる避難所を

この町が大好き

三川男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

3月定例会

予算審査特別委員会

一般質問

小学生との議場懇談会

シリーズ⑨「がんばってます」

P 2~3

P 4~7

P 8~14

P 15

P 16

No.165

3月議会

2024.

4.15

災力の維持に期待

3月 定例会

第2回議会定例会は3月5日から12日までの会期で開会しました。諸般報告1件の後、町長より「施政方針」、教育委員会・農業委員会から「行政方針」が示され、令和5年度の補正予算6件、令和6年度予算5件、条例13件、人事案件2件、議長発議1件を可決しました。一般質問は、6人の議員が町政全般について質問しました。

補正予算

一般会計

806万6千円を減額し、56億5025万7千円としました。

(主な内容)

●歳入
◎個人町民税現年課税分を1900万円増額し、法人町民税現年課税分を550万円減額

●歳出

◎雨水対策推進事業を2960万円減額
◎橋梁長寿命化対策事業に1519万3千円を追加
◎公園費を147万9千円減額
◎住まいづくり支援事業費補助金を894万4千円減額



小型ポンプ 性能検査

条例改正

●消防団条例の一部を改正する条例

(提案理由) 消防団員の処遇の改善を図るため。

主な質疑

問 消防団員のなり手不足による処遇改善と思いますが、これまで配備している機材の能力に応じて差がついていた報酬を同額にした要因は。



パルク赤川

臨時会

第1回臨時会は2月27日に開会しました。専決処分3件、条例改正1件を可決しました。

専決処分

令和5年度一般会計補正予算(第7号)

8522万2千円を追加し、55億9505万1千円としました。

(主な内容)

◎住民税非課税世帯に対する物価高騰対応重点支援金給付事業に3635万5千円を計上

◎物価高騰家計応援クーポン券発行事業へ4451万円を計上

令和5年度一般会計補正予算(第8号)

6327万2千円を追加し、56億5832万3千円としました。

(主な内容)

◎低所得世帯に対する物価高騰対応重点支援金給付事業へ1727万2千円を計上

◎土地改良施設整備事業へ4600万円を計上

専決処分(条例改正)

●国民健康保険条例の一部を改正する条例

(提案理由) 全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行による。

条例改正

●手数料条例の一部を改正する条例

(提案理由) 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令の施行による。

消防団員の処遇改善 防

職名		年額報酬	
		旧	新
基本団員	団長	152,000	152,000
	副団長	91,000	91,000
	分団長	73,000	73,000
	副分団長	60,000	60,000
	部長	40,000	40,000
	班長	37,000	39,000
	自動車ポンプ班員	21,000	36,500
	積載車班員	23,000	36,500
	小型動力ポンプ班員	21,000	36,500
	女性消防団員	10,000	36,500
機能別団員	操法等指導団員	10,000	10,000
	訓練等支援団員	6,000	6,000

出動等区分	出動報酬			
	旧		新	
災害・警戒等	4時間未満	1,800円/回	2時間未満	2,000円/回
	4時間以上	3,000円/回	2時間以上 4時間未満	4,000円/回
			4時間以上	8,000円/回
学校入校等訓練		2,400円/回		2,400円/回

総務課長 消防庁からの通達に示された額に準じ、また、他市町村と同額の報酬に設定したものです。
問 それぞれの機材による防災活動内容・エリアの違いがあったと思いますが、報酬が統一されたことにより今後、活動面での平準化は図られるのか。
総務課長 処遇改善による団員確保を目的としており、出動範囲に関しては従前と変わりません。
問 班長と班員の報酬の差がなくなることにより、班長のなり手不足が懸念されます。増額等の対応が必要では。
総務課長 班長について、消防庁の通達基準はすでに達していましたが、それよりも増額し部長と団員の間というところでこの額に設定しています。

●人権擁護委員候補者の推薦
 折原 忍氏(上町)
 ●教育委員会委員の任命
 佐藤 隆弘氏(青山)

人事案件

読者の窓

1. 議会広報のよく読むページや気になる取り組みはありますか？

町内の教育に関する記事があれば、興味を持って読んでいます。子ども達の成長を応援してってくれる三川町になってほしいです。

2. より読みやすい、手に取りやすい広報誌にするには、どのような取り組みが良いかアドバイスを聞かせ下さい。

農業・教育・施設・福祉等、ジャンル別に提案や取り組みをまとめて掲載していただくと、よりわかりやすい感じがします。

3. 議会や町への要望等あればおきかせ下さい。

どの年代も生きいきと暮らせるよう、幅広い視点で町を支えて頂きたいと思っています。



渡部佳子さん
(押切中町)

議会の個人情報保護の実施状況について
 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
 における、本議会の個人情報保護に係る実施状況は、次のとおりでした。

- ・個人情報開示請求件数 000件
- ・個人情報訂正請求件数 000件
- ・個人情報利用停止請求件数 000件
- ・審査請求件数 000件



鈴木 重行 委員長

3月8日・11日の2日間、令和6年度予算審査特別委員会を開会しました。

委員会は議長を除く9人の議員で構成し、委員長に鈴木重行委員、副委員長に佐久間千佳委員を選出し審査を行い、令和6年度予算を原案のとおり可決すべきものとなりました。

主な質疑

ふるさと応援寄附金の推進を

小野寺 正樹 委員

ふるさと応援寄附金事業の推進策は、

産業振興課長 ポータルサイトを増やす事が寄附を増やす方策の一つと考えています。

新たに導入する「さとふる」はポータルサイト運営会社と出品者との直接契約のため、出品者に説明会を開き理解を得ている所です。

問 個人町民税均等割を500円減額とする要因は。

町民課長 令和5年度までは東日本大震災によ

り緊急防災策として加算されてきました。

給食費への補助を

砂田 茂 委員

問 学校給食費補助金の内容は。

教育課長 物価高騰により、給食費を小学校

280円、中学校340円としましたが、保護者の負担を軽減するため令和4年度の基準に抑える目的で小学校で20円、中学校で40円分を補助するものです。

問 寄附金に「企業版ふるさと納税」制度実施の考えは。

企画調課長 現行の「企業版ふるさと納税」制度



の期間は5年間で、令和6年度までと実施期間が短くなっています。その後、延長されると思われる新たな制度の計画に取り組み予定です。

除雪対策の強化は

佐久間 千佳 委員

問 除雪対策費において、新規住宅団地や産業団地の造成による除雪路線の延長が予測されますが、その対策として除雪車を増設する考えは。

建設環境課長 除雪路線の増加に伴う除雪車の増強

に関しては、全体のバランス等を考慮して見極めていきたいと考えています。

問 若者地元定着・回帰促進事業負担金の事業内容は。

産業振興課長 鶴岡地区雇用対策協議会が行っている

「地元就職応援サイト鶴岡仕事ナビ」の運営(三川6社)とオンライン企業説明会(三川3社)の開催です。



令和6年度
予算審査

令和7年1月1日 三

70周年記念事業は

町野 昌弘委員

問 三川誕生70周年記念行事の時期と内容は。

総務課長 時期は本町が合併した日が1月1日です。令和7年1月1日以降に、内容は60周年記念ならうような形で記念公演・式典と、この10年で町政に功労があった方への特別表彰等を考えており、この10年のあゆみとして記念誌の発行も考えています。



歴史を紡いできた三川町役場

婚活支援の推進を

佐藤 栄市委員

問 結婚支援事業の進め方と負担割合は。

企画調整課長 町単独ではなかなか進まないこともあり、庄内5市町に枠を広げ、連携してAIやデジタルを活用した※メタバース婚活を進めていくことが効果的であると考えています。

入力・集計・分析等、結果のとりまとめも考えています。

高齢者への買い物支援は

鈴木 淳士委員

問 宅配サービス等支援事業は高齢者福祉対策として展開すべきと思うが、補助金が6割も増額する理由は。

産業振興課長 店舗へ送迎した時期もありましたが、現在は事業者支援策として実施しています。

突に残留するアスベストがあるため検査を必要としています。各会議室等への空調設備完備後は、その部分を密閉する工事ができると考えています。

国保の納付状況は

小林 茂吉委員

問 国民健康保険事業費納付金の被保険者一人あたりの額と県内32保険者では、本町は何番目に位置するのか。

町民課長 一人あたり13万6297円の納付金額であり、県内で上から7番目になります。

問 若者定着奨学金返還支援事業の支援額が続き、近年、減額の傾向が続いています。事業への応募状況と、事業の必要性と効果は。

産業振興課長 現在は1〜2人の申込がありますが、利用者の増減と県の動向を注視しながら、今後事業を進めていきます。

問 子育て支援室長補佐 第2期子ども計画の目的は。

子育て支援室長補佐 第2期子ども計画が令和6年度で終わることから、7年度から始まる第3期支援事業の策定のためのニーズ調査と7年度策定予定の子ども計画と、一体的な計画とするために行うもので、アンケート項目の設計と

問 農村環境改善センターのアスベスト検査が不要になるような安全対策は。

農村環境改善センター副長 ホールの天井に一部残留していますが、現在は物置であり人の出入がないので検査の必要はありません。一方、ボイラー室の煙

0万円 と総合計画事業の主な内容

将来にわたって活躍できる人を育むまち 2億7864万円

◎子育てしやすいまちづくりの推進

- ・子育て支援センター事業 2064万円
育児不安等に対する相談指導、一時預かり
- ・子育て支援医療給付事業 3656万円
0～18歳までの児童に係る医療費の一部負担金の全額助成
- ・学童保育支援事業 7962万円
学童保育所運営事業者に対する補助、施設整備補助



◎生涯学ぶことができる地域社会の実現

- ・社会教育団体等活動推進事業 43万円
芸術文化協会、来夢来人等に対する活動支援
- ・生涯学習活動実践事業 298万円
町民講座、みかわ秋まつり、菜の花大学の開催
- ・社会体育団体等活動推進事業 502万円
スポーツ少年団、みかわスポーツクラブ等に対する活動支援

いつまでも健康で安心して暮らせるまち 2億8438万円

◎誰もが健康で幸せに過ごせる共生社会の実現

- ・社会福祉法人等支援事業 2589万円
社会福祉法人、社会福祉団体の活動に対する補助
- ・高齢者就業機会確保事業 277万円
シルバー人材センターに対する支援
- ・健康増進事業 1587万円
健康診断、がん検診の実施、健康マイチャレの実施



◎安全で安心して暮らせる強靱なまちの実現

- ・公共施設等長寿命化対策事業 715万円
みかわ保育園・幼稚園の大規模改修工事
- ・常備消防事務委託事業 2億1435万円
常備消防事務の鶴岡市への委託
- ・安全で明るい町づくり推進整備事業 53万円
防犯灯の設置、修繕及びLED化の促進

%は構成比 () 内は前年比較 千円以下は省略して表記

労働費 0.1%



444万円
(+21万円)

民生費 29.7%



14億8541万円
(+4790万円)

議会費 1.4%



7141万円
(+269万円)

農林水産業費 8.9%



4億4514万円
(+878万円)

衛生費 4.2%



2億966万円
(-3260万円)

総務費 15.4%



7億6781万円
(+1億7103万円)

令和6年度 一般会計 50億20

創造力にあふれ豊かさを実感できるまち 3億7526万円

◎活気に満ちた産業の育成と雇用の創出

- ・食育・地産地消推進事業 131万円
小中学校の交流給食、地産地消に対する支援
- ・農用地保全活動推進事業 1億6575万円
農業関連資源や農村環境を守る活動に対する支援
- ・中小企業等振興支援事業 5886万円
出羽商工会の活動支援、買い物弱者対策の推進



◎みかわブランドをいかした交流人口・関係人口の拡大

- ・「いろり火の里」推進事業 5567万円
施設の大規模改修と機能強化に向けた設備整備
- ・結婚推進事業 189万円
婚活事業実施の個人・団体補助、新生活費用補助
- ・移住定住促進事業 250万円
町外からの移住のための住宅取得に対する支援

未来に向かって継続し発展するまち 3億608万円

◎安定した生活基盤を支えるインフラ整備

- ・道路舗装事業 2892万円
交通量が多く路面の損傷が多い路線の計画的な整備
- ・橋梁長寿命化対策事業 1069万円
橋梁の点検や維持補修工事の計画的な実施
- ・地域公共交通推進事業 588万円
デマンドタクシーの運行



◎町民総参加によるまちづくりの推進

- ・地域づくり活動推進事業 1081万円
町内会総合交付金、コミュニティ活動支援員派遣
- ・電子自治体推進事業 7957万円
情報ネットワークと各種システム関連機器の管理

◎自然と調和した住環境の整備

- ・住まいづくり支援事業 1780万円
住宅建設・購入、リフォーム等に係る費用補助
- ・廃棄物処理事業 1億1万円
ごみ収集運搬業務及び廃棄物処理業務の委託

公債費 10.1%



5億717万円
(+3275万円)

消防費 5.2%



2億5960万円
(+2706万円)

商工費 7.7%



3億8744万円
(+120万円)

予備費等 0.2%



1002万円
(+0万円)

教育費 9.0%



4億4889万円
(-1億3480万円)

土木費 8.1%



4億501万円
(-1億6122万円)

町政を問う

3月定例会

一般質問



議会ホームページは
こちらから
(音声配信中)

一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

3月5日と7日に6人の議員が以下の項目について質問しました。
●の内容を掲載しています。

小野寺 正樹 議員 (9ページ)

- 食料、飲料水及び生活必需品等の確保計画について
- 地域防災計画の見直しについて

小林 茂吉 議員 (10ページ)

- 総務行政について
- 企画行政について
- 教育行政について

砂田 茂 議員 (11ページ)

- 地震災害時の避難所対策は
- 猫の多頭飼育について
- 高齢者の移動手段は

鈴木 淳士 議員 (12ページ)

- 「いろり火の里」のこれまでと今後は
- 協働による「素敵な町づくり」を

佐久間 千佳 議員 (13ページ)

- 教育行政は
- 友好都市について
- 農業行政は

鈴木 重行 議員 (14ページ)

- 令和6年度三川町施政方針について
- 令和6年度三川町教育委員会行政方針について
- 令和6年度三川町農業委員会行政方針について

(8) 14ページまとめ 小野寺 正樹

災害時の生活必需品の確保を

町長 今後の検討課題とします



おの まさき
小野寺 正樹 議員

災害時の緊急対応策は

問 緊急処置対応策として、最低限の生活必需品を備えるべきでは。

町長

食料や飲料水等については、町内及び近隣の関連事業者との協定に基づく供給を想定しており、現時点では、保管場所などの課題もあることから、町としての



全戸配布されている非常持出袋

備蓄は実施していないところであり、今後の検討課題であると捉えています。

問

災害対策本部の設置場所として三川町公民館も計画されていますが見直しが必要では。

町長

現時点での役割に次ぐ本部の設置場所については、子育て交流施設「テオトル」を想定しており、地域防災計画の見直しに合わせて修正していきます。

問

災害時、仮設トイレの確保が問題視されていますが改善策は。

町長

大規模災害時の避難所におけるトイレについては、非常に大きな課題と捉えています。災害時のトイレの整備も進めており、今後とも充実に努めていきます。

防災ガイドブックの見直しを

問

能登半島地震を教訓に防災ガイド

ブックを新しく発行しては。また災害時のペットの扱いは。

町長

防災ガイドブックは令和3年に全ての世帯に配布して、現時点では主な対策や内容について大きな変更の必要はないものと判断しています。

避難所におけるペット対応の検討も含め、訓練や研修会など、防災に関する取り組みを実施し考えていきます。

問

自主防災組織の活動において、自主防災リーダー育成と消防団OB等の活用は。

町長

各自主防災組織において防災リー

ダーの必要性を踏まえ、消防団OBに限定せず育成していくことが肝要であると考えています。

問

防災用通信施設災害予防計画に「町のホームページやライン等の防災速報アプリの運用を促す」などの文言を付け足すべきでは。

町長

町内会の集いや、自主防災組織の災害訓練、さらに町内会等を対象としたデジタル化に対応するための出張講座の開設、防災情報の有用な取得方法の周知と活用の拡大に努めていきます。



女性管理職の登用率をあげよ

町長 女性活躍につながる判断をする



こばやし しばよし
小林 茂吉 議員

問 女性の係長級以上の職員割合を引き上げて、管理職登用のプロセスに、必要な経験が積めるポストに公正な人事評価に基づき計画的に女性を登用すべきでは。

町長 管理職ポストは現在9人の内、女性は1人です。92人の職員の男女割合は約半数である。

り、男女の区別がないよう女性活躍の視点からも評価をしていきます。

問 任期の定めのない常勤職員で、男性の給与に対する女性の給与の割合をどう分析するか。

町長 昇任、昇格の時期により職員間での差異は生じますが、男女

間の格差はないものと認識しています。

問 個々の職員は、休暇を取得しやすい雰囲気醸成や環境づくりを求めていると思えます。所属長は、部下が年次有給休暇を積極的に取得するには何をすべきか。

総務課長 取得しやすい環境づくりが不可欠であることから、業務のマネジメント体制の確立や事務事業の効率化、簡素化に努めていきます。



「つながり」を大切に

誰もが幸せを実感できる地域へ

問 人々の「つながり」の意識であるコミュニティ感覚といった視点で、「コミュニティ醸成型」の政策展開が求められると思うが見解は。

町長 地域社会の「つながり」が希薄化の傾向にあると認識します。地域の「つながり」が強まることにより自主・自立的な活動が活発化し、

ひいては地域も活性化されていきます。様々な交流の場の創出と町内会総合交付金や、協働のまちづくり推進事業、コミュニティ活動支援員派遣事業などにより支援を継続していきます。

問 ウェルビーイングを標榜した環境・福祉・経済の各施策を講じていますが、その中心

にウェルビーイングを底上げする意味での指標づくりの考えは。

企画調整課長 一人ひとりの幸せの感じ方は違い、アンケート調査の難しさを自覚しながらも、今後の政策評価に生かす指標づくりの必要性を検討していきます。

※個人や社会に良い状態



女性活躍社会

地域のあると認識します。地域の「つながり」が強まることにより自主・自立的な活動が活発化し、

福祉・経済の各施策を講じていますが、その中心

安心できる避難所を

町長 プライバシー確保に努める



すなだ しいげん
砂田 茂 議員

問 大地震や津波の遡上による住宅被害で発生する避難者数と、それに伴う避難所開設の考えは。

町長 町の地域防災計画による地震被害は、庄内平野東縁断層帯を震源とするマグニチュード7・5の地震で住宅の全壊が212〜227戸、半壊が469〜502戸で、避難者数は651〜685人と想定しています。山形県の調査・試算に基づいた想定で、大規模地震での津波の遡上があった場合でも、水は赤川の河川敷に留まると考えられており住宅への被害の可能性は低いと考えます。



内閣府「災害対応力を強化する女性の視点」から

また、避難所開設は震度5強以上としています。

問 避難所の水、食料等の備蓄と室温対策は。

町長 町内や近隣の事業者との協定に基づく供給を想定しており備蓄はしていませんが、今後の検討課題としています。

室温対策では、小学校の体育館で冬は石油ストーブやジェットヒーター、夏は冷風機やスポットクーラー、扇風機などでの対応を想定しています。

問 避難者のストレス軽減のためのプライバシー確保対策は。

町長 個人や家族の居住ルームテントやパネルパーティション、要支援者や女性専用のスペース等も設置する計画で、避難者がストレスなく過ごせるようプライバシーの確保に努めます。

町外までの運行は

問 運転免許自主返納者や高齢者などから要望のある、デマンドタクシーの町外までの運行の考えは。

町長 道路運送法に基づく「一般乗合旅客自動車運送事業」では、運行計画区域内のバス及びタクシー事業者との協議での運行許可が必要という法的課題があり、デ

マンドタクシーの町外までの運行はできない状況となっています。

問 利便性に合わせた運行時間の見直しは。

町長 現在、午前9時から午後4時までの1日7便で運行していますが、利用者からの要望を聞きながら見直しや改善に努めています。



デマンドタクシー

いろいろ火の里への負担軽減策を

町長 企業活用などの改善策を考えたい



民間企業経営による新たな展開を…



すずき じゅんし 議員
鈴木 淳士 議員

町長 問

いろいろ火の里の建設費及び修繕費は約33億4千万円、その後の修繕改修費用は約9億4400万円であり、今後8年間の修繕見込みは約2億9600万円です。

の後の修繕改修費用は約9億4400万円であり、今後8年間の修繕見込みは約2億9600万円です。

問

当初計画では、事業収益が見込めるとしていましたが、町が支払う管理委託料と受け取る賃貸料との関係は、平成15～17年までの収入が町に納付されていますが、平成18年以降は、委託料(指定管理料)と賃貸料を2150万円の同額としています。

問

「なの花温泉」「田田」は町民による利用が多い一方、「なの花ホール」や「田田の宿」の利用は少ないが、当初の設置目的と現状の利用実態を分析しての所見は。

町長

当時の町長から、憩いの場であり庄内の発展に寄与する施設であると説明を受け、「行政財産」としてはありますが、将来の位置づけを考えるべき時期と認識しています。

問

「田田」のみ町直営とし、他の施設については全国的に事例の多い民間企業への売却



「町づくり」は町職員と町民との協働で…

「素敵な町づくり」には慎重な対応が必要

問

小学生からの「協働による素敵な町づくり」という提言に 대응するためにも、各町内会の住環境改善計画を町当局と住民との協働事業として展開しては。

町長

町の負担を回避する対策として、民

や、経営ノウハウの高い企業を指定管理者に選択するなど、町の財政負担軽減を図る検討が必要では。

間ノウハウで赤字部門を受け入れてくれる企業があれば、経営改善策を考えていかなければならぬと思っています。

総務課長

各町内会の持続的発展のためには有

効であり、コミュニティの活性化対策としても有効と考えられますが、道路整備や公園改修事業など工事費が伴う事業については、一定のルールなど慎重な対応が必要であると思います。

生成AIの活用は

教育長 限定的に利用を始める



さくま ちよし 議員
佐久間 千佳

問 文科省では小中高校での生成AIの利用を認める指針を出していますが、教育現場における活用は。

教育長 生成AIは現時点ではまだ発展途上であり、さまざまなリスクも伴うことから、児童生徒の発達段階を十分に



AIを上手に使いこなす力を

考慮し、教師側もAIに関する基本的な概念や影響を理解した上で、当面は教育的に有効と判断できる部分について限定的に利用を始めることが適切だと考えています。酒田市の光陵高校では、リーダーシップのグDXスクールのパイ

ロット校として先進的な取り組みを行っているようですが、教師のスキルアップ等で連携する考えは。

教育長 相手方の事もあるのですが、近隣の小中学校での実践、教師同士の交流の中で講義を頂くなど、教師のスキルアップを積極的に進めて行きたいと思っています。

農業もデジタル化を

問 農業関係の各種申請書類や計画書の提出、転作ヒアリング等への対応が年々早まっています。関係書類のデジタル化は。

町長 農林水産省共通申請サービス(e-MAFFイーマップ)のシステム導入はしていますが、実務者研修会や、国担当による派遣講習会がコロナの影響により延期されたことで、農業者への制度の周知が不十分な

状況です。

今後は、改めて具体的な申請手続きについて農業者に周知していきます。

問 J-クレジット制度への町としての取り組みや民間事業者との連携は。

町長 この事業については、プロジェクト登録から「クレジット」の認証・発行に至るまでの手続きが複雑で5カ月以上の時間と、100万円程度の費用が発生することから、取り組みについては考えていません。しかしながら、民間事業者では自らが認証を受



農業のデジタル化が進んできている

け、農業者を募り、事業を進めようとしている動きも複数あることから、町としては農業者に対する情報提供を行っていきます。

※生成AI…AI(人工知能)の一種でAIを用いてクリエイティブな成果物を生み出すことができるのが特徴
※J-クレジット制度…省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーによるCO₂等の排出削減量を「クレジット」として国が認証し、販売することができる制度。水田の「ワキ」によるメタン発生抑制策として、中干し期間の延長により創出された「クレジット」を販売できる。

行政と住民による協働のまちづくりは

町長 地域活動への支援で推進



すずき しげゆき
鈴木 重行 議員



自治活動の活性化を...

問 地域づくり活動の推進として計画される、住民による自治活動の課題は。

町長 町内会を単位として住民の自治活動は、円滑な行政運営を進めていく上で重要な役割を担っており、かつ、住

民生活を安心して豊かに暮らしていくためには、無くてはならないものと認識しています。

一方、自治活動の運営にあたっては、各町内会などの地域で抱える課題は様々な分野にわたり、それぞれの事情によって

異なることから、関係者自らが自分たちの地域課題であるという意識を持ちながら課題解決に向かうことが重要であると捉えています。

問 行政と地域住民による協働のまちづくりの推進策は。

町長 町内会総合交付金や協働のまちづくり推進事業、コミュニティ活動支援員派遣事業により地域活動を支援しながら、課題解決に繋がっていきたいと考えています。

問 ポストコロナのまちづくりの取り組みは。

町長 第4次三川町総合計画でかかげる町の将来像「あふれる笑顔みんなが住みやすいまちハートフルタウンみかわ」を継続して目指しつつ、施策事業の実行にあたってはコロナ禍で経験したことを踏まえながら、手段・手法を検討します。



防災意識の高揚を

地域防災力の強化を

問 能登半島地震の被害状況を鑑み、本町における地域防災力の強化に必要な対策は。

町長 改めて地域の防災力の強化の必要性を痛感しました。

現在の地域防災計画や職員の初動マニュアルの再点検を行い、より実行性、実現性の高い計画とする取り組みが重要と捉えています。

また、災害の発生直後

には、短時間で町の職員が各々の部署に配置し避難所開設や、食料・飲料水の供給ができること、限らないことから、町民一人ひとりが災害に対する意識を高め、自ら食料や飲料を備蓄すること、そして地域の一員として防災活動に参画すること、これらの町民や自主防災組織の災害に対する備えを促進し地域防災力の強化に取り組みます。

小学生との 議場懇談会

この町が大好き

1月30日、東郷小学校の6年生が役場を訪れ、議場で魅力ある町づくりなどについて議員と話し合いました。



わたしたちはこう思います



三川の人とはとてもあたたかく、この町が大好きです。おいしいご飯もあって一生ここにいたいと考えています。

魅力ある町になってほしいです。きれいで思いやりあふれる素敵な町であってほしいと思います。

活気のある町がいいです。みんなで使える公共の場がたくさんあって、交流の場があったり、学校同士の交流が盛んだったりすると元気があっていいと思います。



議員 三川町のことで大変だと感じた問題はありますか。
質問 少子高齢化・人口減少を食い止めるという問題です。

議員 賛成か反対か結論をだすことが一番大変です。
質問 議員の仕事をしていて、一番大変だと感じることはありますか。

議員 4つの委員会に別れて専門的に調査検討しています。
質問 議員の役割分担は、どのようにしていますか。

議員 エアコン設置やパソコン導入など議論しています。
質問 議員の仕事で、小中学校と関係のある仕事はありますか。

議員 どういう姿の町を描くのか、とことん議論しています。
質問 町づくりの中でこだわっていることはありますか。

★**野澤里真**さん
始めは緊張していたけど、最後は緊張がとけてよかった。議会は町のことや環境整備などに取組んでいることがわかりました。
学んだことをいかしたいと思いました。

★**菅原健吾**さん
議員と話し合いができるなんてびっくりしました。議員はみんなの意見もしっかり聞かないといけないし、白黒はつきりさせるのが難しいなど分かりやすく解説してくれてよかったです。

★**筒井千歳**さん
議場が立派で議会の雰囲気があつてびっくりしました。町の問題改善に向けて話合う姿勢がすごいと思いました。
私たちも町のことを考えて、できることをやっていき、より良い三川町にしたいです。

議員と懇談して

がんばってます

三川男子ミニバスケットボール スポーツ少年団 「何事にもTRY！」



三川男子ミニバスケットボールスポーツ少年団は、1年生から6年生までの19人が活動しています。平成29年に団が復活し、初年度は団員10人以

下のチームのため試合もオープン参加でした。翌年から団員も増え正式に大会などに参加できるようになりました。団の目標は「TRY！」体力づくり、技術の向上

はもちろん、いろんな事にトライし、あいさつ、感謝、物を大切にする心の育成に取り組んでいます。また、練習は各小学校の体育館を使わせていただき、週4回行っています。

学年にあった練習でバスケットボールはボールを扱うスポーツです。低学年の場合は、まずボールに慣れバスケットボールの楽しさ。高学年はバスケの技術、体力、チーム戦略など、学年に合わせた練習を行っています。昨年度は高学年が多かったため、三川男子ミニバスケットボール少年団復活以来初の交歓大会で県大会に出場出来ました。残念ながら初戦敗退ではありましたが、子供たちみんながTRYし自信につながった大会でした。スポーツ少年団を通じ



学年にあった練習で

て、心、体力、仲間とのコミュニケーションを高めあつて、バスケットボールを楽しんでもらいたいです。

三川男子ミニバスケット

代表 岡部 喜紀

表紙の写真



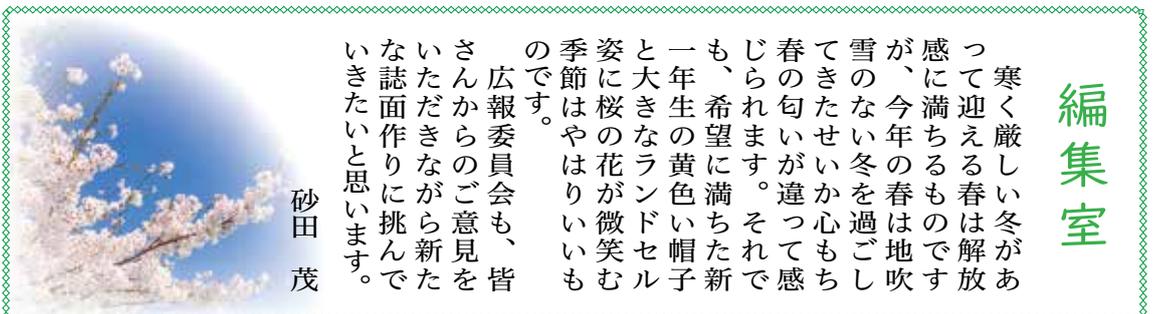
「みかわ保育園・幼稚園」
(写真) 砂田 茂

編集室

寒く厳しい冬があとで迎える春は解放感に満ちるものですが、今年の春は地吹雪のない冬を過ごしてきたせいも心もち春の匂いが違って感じられます。それでも、希望に満ちた新一年生の黄色い帽子と大きなランドセル姿に桜の花が微笑む季節はやはりいいものです。

広報委員会も、皆さんからのご意見をいただきながら新たな誌面作りに挑戦していきたいと思えます。

砂田 茂



発行責任者
議会議長 志田 徳久
編集 広報常任委員会
委員長 佐久間千佳
副委員長 町野 昌弘

委員 鈴木 重行
委員 鈴木 淳士
委員 砂田 茂
委員 小野寺正樹